

2022年3月期 第2四半期
決算説明会

2021年10月29日
株式会社アイシン

2022年3月期 第2四半期 決算のポイント

1. 上期は、東南アジアでの新型コロナウイルス感染再拡大や半導体不足の影響を受けたものの、構造改革・原価低減活動の効果により、前年比で大幅な増収・増益。
2. 通期業績予想は、半導体不足や原材料高騰など見通しの難しい事業環境ではあるものの、サプライチェーン一体での部品不足解消に向けた取り組みや構造改革・原価低減活動の加速により収益体質を堅持し、当初計画の売上収益3兆9,500億円、営業利益2,200億円をめざす。
3. 構造改革・経営統合効果は当初計画を上回るペースで進んでおり2023年度営業利益率7%以上の達成に向けて着実に進捗。

2022年3月期 第2四半期 実績

2022年3月期 第2四半期 実績 決算サマリー

() 内は売上収益比率 【単位：億円】

	2021年3月期 第2四半期実績	2022年3月期 第2四半期実績	増減	増減率 %	(前回) 7月30日公表値
売上収益	14,559 -	18,647 -	+ 4,088	+ 28.1	20,500 -
営業利益	▲ 385 (▲2.6)	851 (4.6)	+ 1,236	-	1,300 (6.3)
税引前利益	▲ 313 (▲2.2)	961 (5.2)	+ 1,274	-	1,400 (6.8)
当期利益*1	▲ 194 (▲1.3)	623 (3.3)	+ 817	-	950 (4.6)

*1：親会社の所有者に帰属する当期利益

前提条件	為替レート	米ドル	107 円	110 円	+ 3 円	+ 2.8	107 円
		中国元	15.3 円	17.0 円	+ 1.7 円	+ 11.1	16.7 円
	トヨタ生産台数		346 万台	438 万台	+ 92 万台	+ 26.4	-
	パワートレインユニット 販売台数*2 (内 中容量以上のE-Four)		357 万台 (2)	469 万台 (8)	+ 112 万台 (+6)	+ 31.4	523 万台 (8)

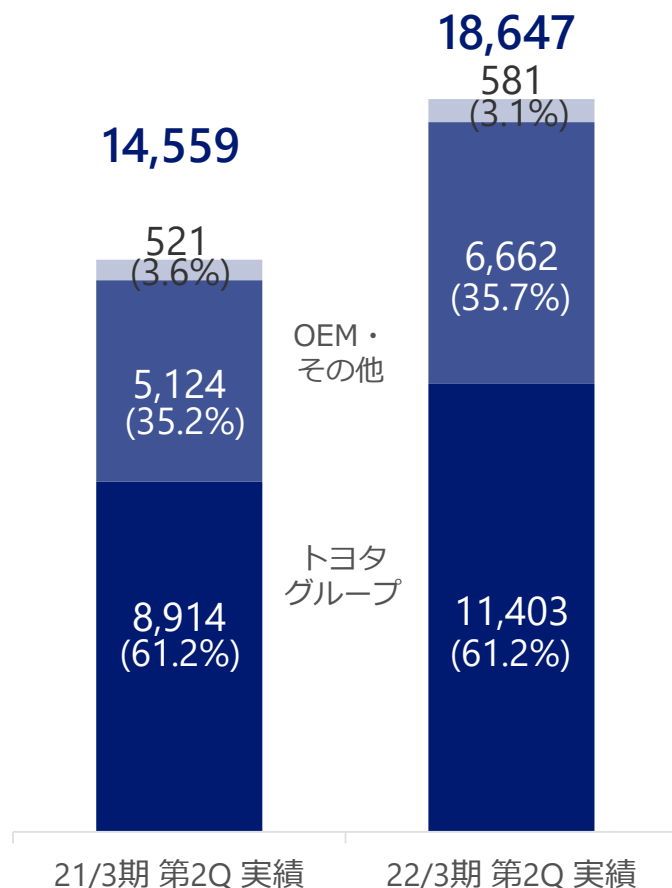
*2：AT, CVT, HV, eAxe(中容量以上のE-Four含む)の合計販売台数

2022年3月期 第2四半期 実績 得意先別売上収益

自動車部品関連

【単位：億円】

エナジーソリューション関連他



得意先別 (OEM・その他)

得意先	2021年3月期 第2四半期 実績	2022年3月期 第2四半期 実績	増減
VW&Audi	1,108	1,250	+142
Stellantis	654	1,111	+457
スズキ	443	541	+98
ボルボ	478	535	+57
三菱	122	373	+251
ホンダ	286	305	+19
日産	247	273	+26
長安汽車	215	245	+30
BMW	199	213	+14
一汽轎車	173	201	+28
その他	1,199	1,615	+416
合計	5,124	6,662	+1,538
(参考) 中国民族系	794	943	+149

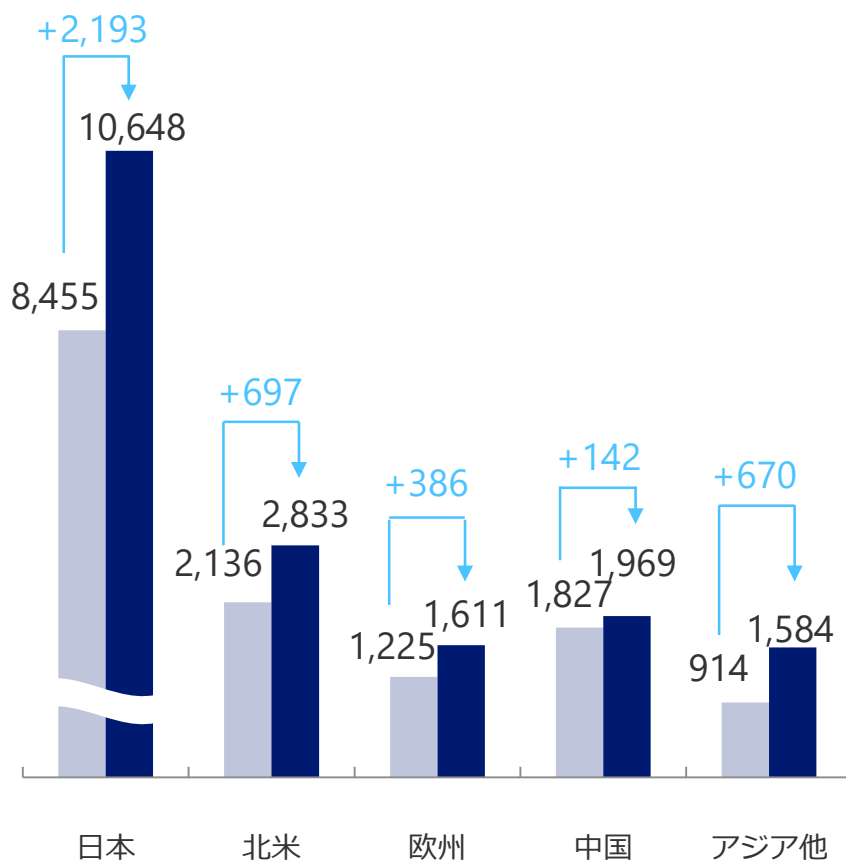
2022年3月期 第2四半期 実績 所在地別セグメント

2021年3月期 第2四半期 実績

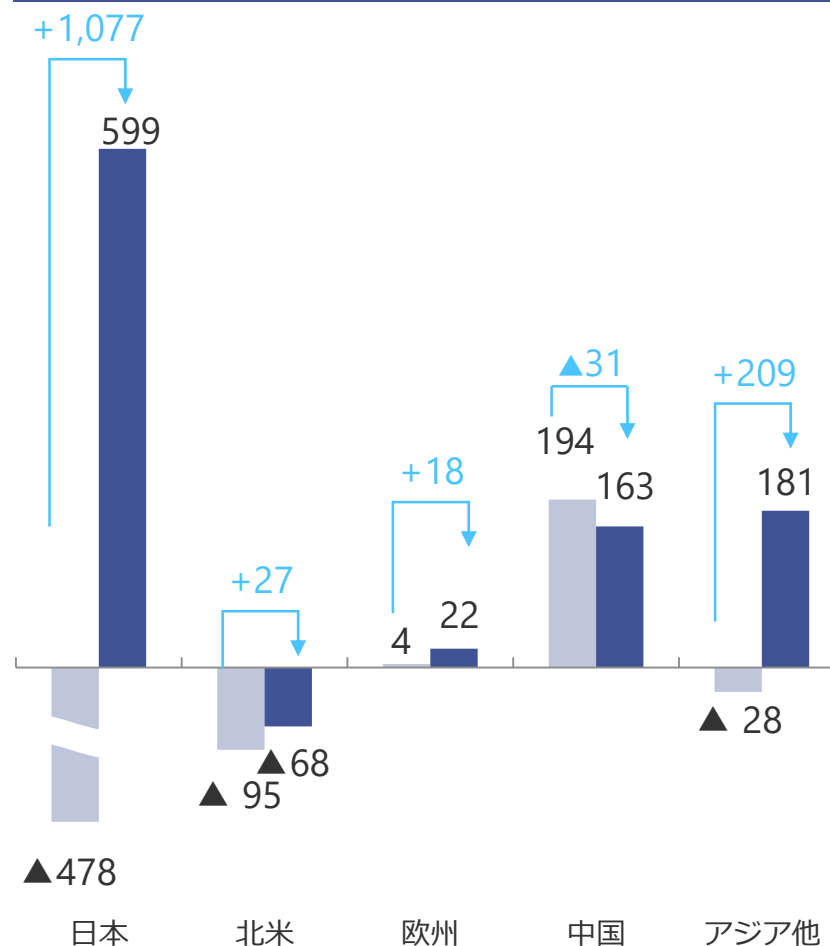
2022年3月期 第2四半期 実績

【単位：億円】

売上収益（前期比+4,088）

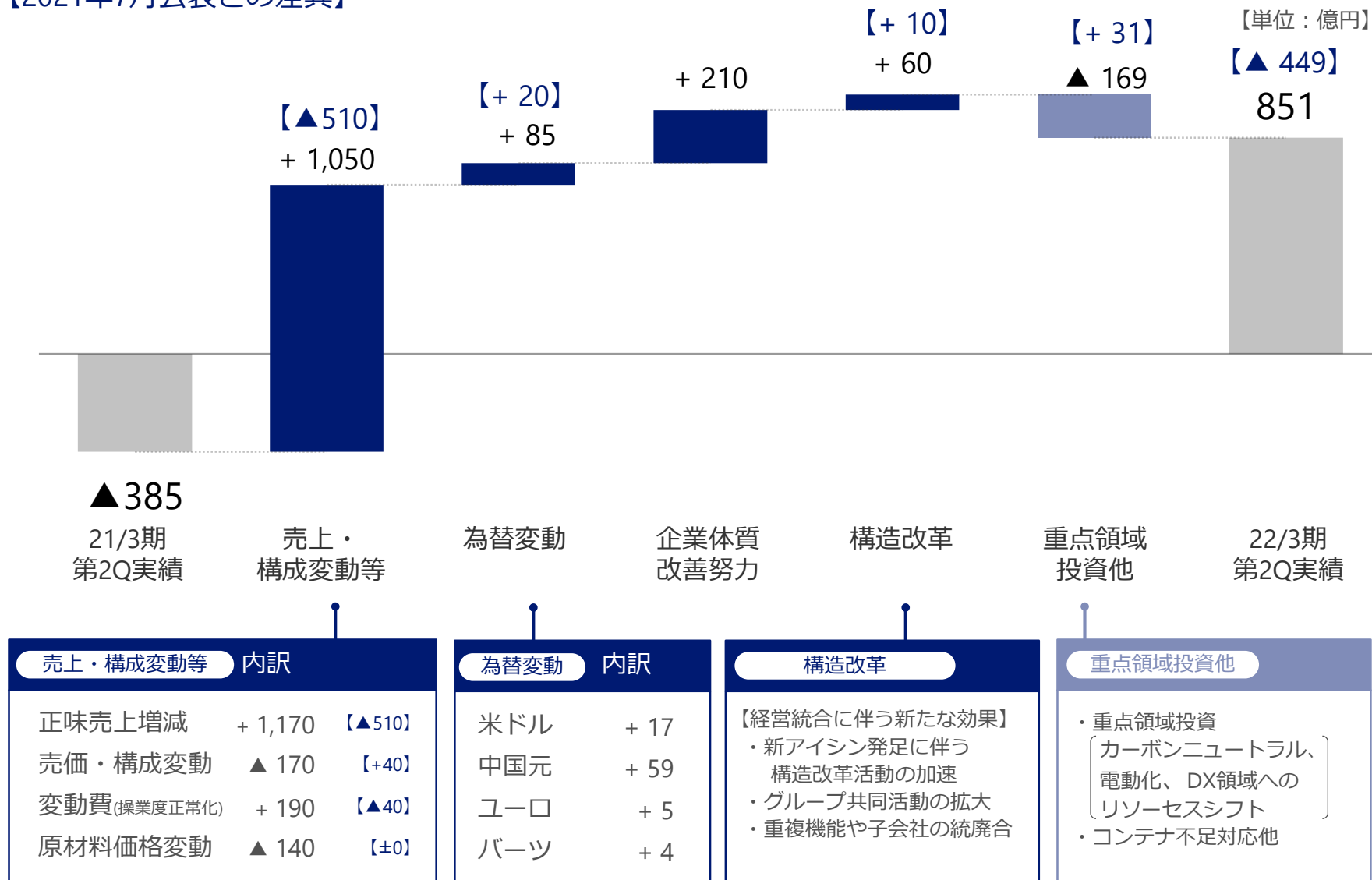


営業利益（前期比+1,236）



2022年3月期 第2四半期 実績 営業利益増減

【2021年7月公表との差異】



2022年3月期 通期 予想

2022年3月期 通期 予想 決算サマリー

() 内は売上収益比率 【単位：億円】

	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期予想	増減	増減率 %	(前回) 4月28日公表値
売上収益	35,257 -	39,500 -	+4,243	+12.0	39,500 -
営業利益	1,453 (4.1)	2,200 (5.6)	+747	+51.4	2,200 (5.6)
税引前利益	1,675 (4.8)	2,300 (5.8)	+625	+37.3	2,300 (5.8)
当期利益*1	1,056 (3.0)	1,500 (3.8)	+444	+42.0	1,500 (3.8)

*1：親会社の所有者に帰属する当期利益

前提条件

為替レート	米ドル	106 円	107 円	+1 円	0.9	105 円
	中国元	15.7 円	16.6 円	+ 0.9 円	+ 5.7	16.1 円
パワーtrainユニット 販売台数*2 (内 中容量以上のE-Four)		888 万台 (8)	997 万台 (17)	+ 109 万台 (+9)	+ 12.3	1,006 万台 (16)

*2：AT, CVT, HV, eAxle(中容量以上のE-Four含む)の合計販売台数

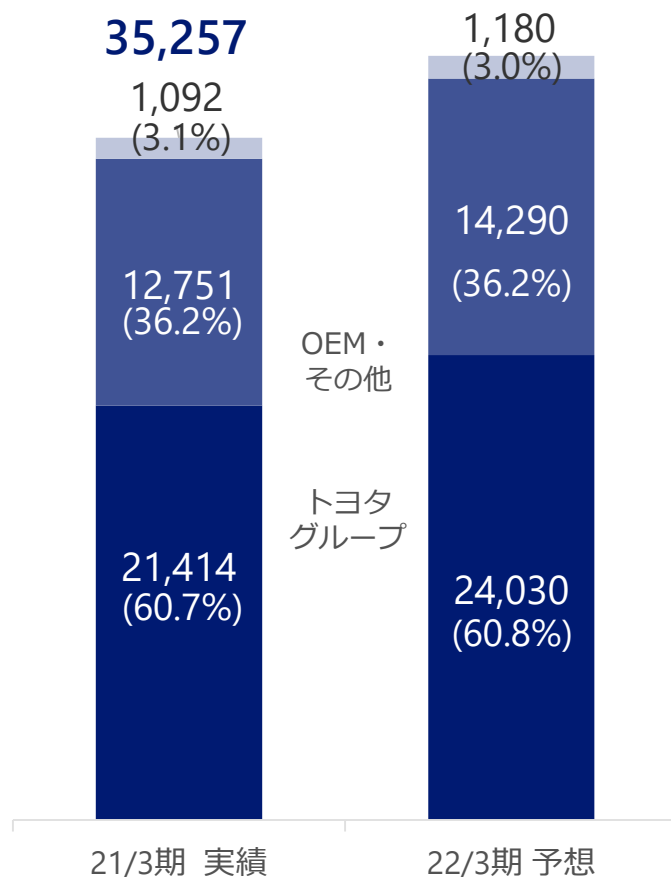
2022年3月期 通期 予想 得意先別売上収益

自動車部品関連

【単位：億円】

エネルギーソリューション関連他

39,500



得意先別 (OEM・その他)

得意先	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	増減
Stellantis	1,939	2,530	+591
VW&Audi	2,400	2,450	+50
ボルボ	1,152	1,210	+58
スズキ	1,082	1,190	+108
三菱	490	730	+240
日産	654	650	▲4
ホンダ	632	640	+8
長安汽車	512	520	+8
BMW	562	490	▲72
広州汽車	466	490	+24
その他	2,862	3,390	+528
合計	12,751	14,290	+1,539
(参考) 中国民族系	1,842	1,941	+99

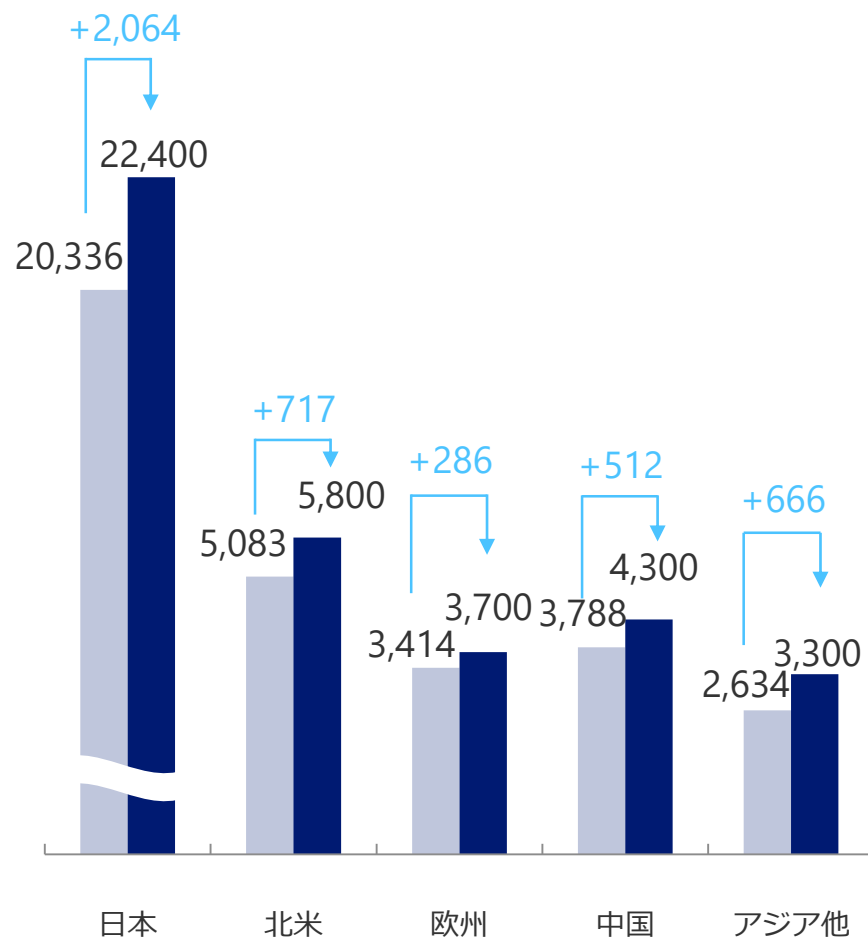
2022年3月期 通期 予想 所在地別セグメント

■ 2021年3月期 実績

■ 2022年3月期 予想

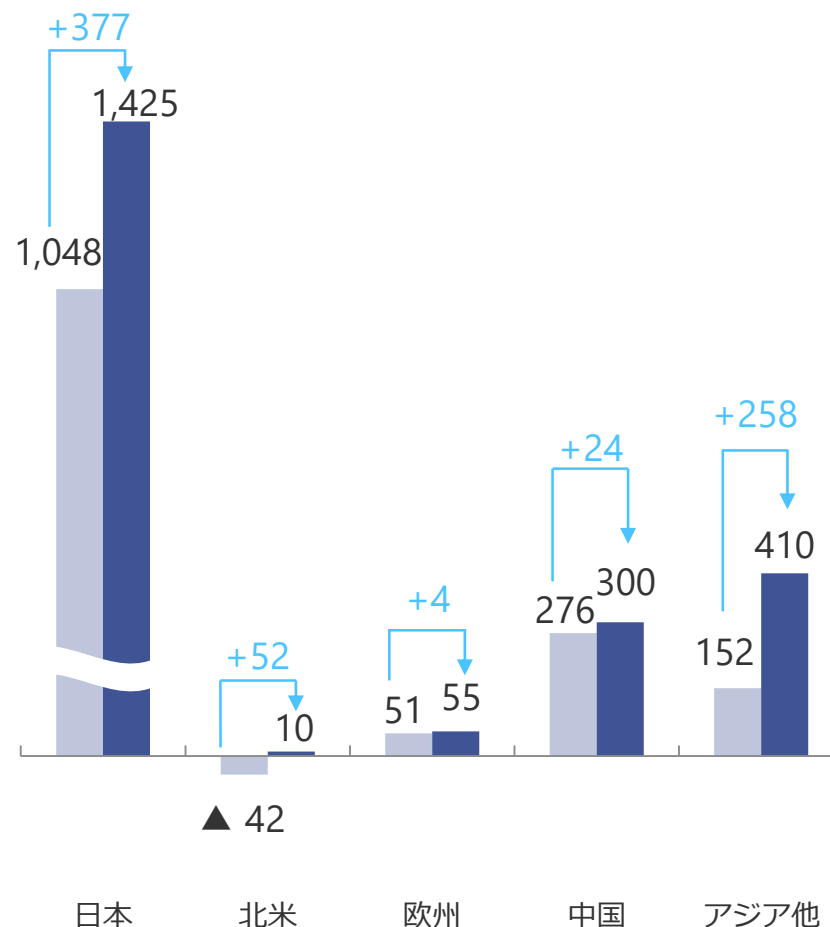
【単位：億円】

売上収益（前期比+4,243）



※外部顧客への売上収益

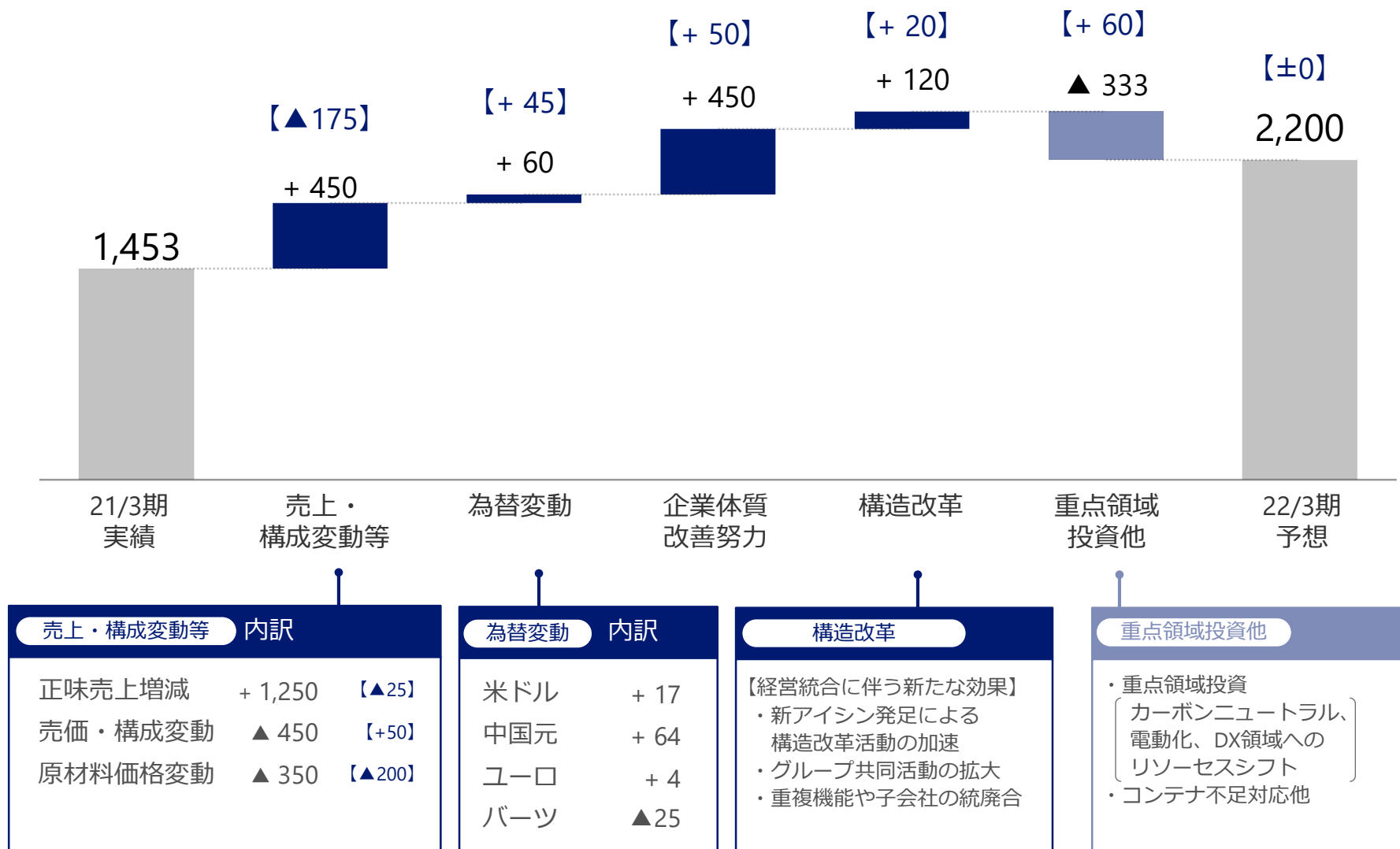
営業利益（前期比+747）



2022年3月期 通期 予想 営業利益増減

【2021年4月公表との差異】

【単位：億円】



参考情報

売上収益明細（第2四半期実績・通期予想）

（ ）内は構成比【単位：億円】

		2021年3月期 第2四半期 実績	2022年3月期 第2四半期 実績	増減	%	(前回予想) 7月30日公表値
自動車部品	パートレイン関連	7,929	10,573 (56.7)	+2,644	+33.3	11,695
	走行安全関連	2,703	3,540 (19.0)	+837	+31.0	3,858
	車体関連	2,927	3,481 (18.7)	+554	+18.9	3,877
	CSS*関連他	477	470 (2.5)	▲7	▲1.5	478
		14,038	18,065 (96.9)	+4,027	+28.7	19,910
イノベーション関連他		521	581 (3.1)	+60	+11.6	590
合計		14,559	18,647 (100.0)	+4,088	+28.1	20,500

		2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	増減	%
自動車部品	パートレイン関連	19,683	22,451 (56.8)	+2,768	+14.1
	走行安全関連	6,502	7,624 (19.3)	+1,122	+17.3
	車体関連	6,924	7,295 (18.5)	+371	+5.4
	CSS*関連他	1,055	947 (2.4)	▲108	▲10.2
		34,165	38,320 (97.0)	+4,155	+12.2
イノベーション関連他		1,092	1,180 (3.0)	+88	+8.1
合計		35,257	39,500 (100.0)	+4,243	+12.0

* CSS : コネクティッド&シェアリングソリューション (Connected and Sharing Solutions)

設備投資・償却費・研究開発費

【単位：億円】

サブ別		2021年3月期 第2四半期実績	事業別	2022年3月期 第2四半期実績	2022年3月期 通期予想
設備投資	AIサブ	308	パワートレイン	438	1,048
	AWサブ	444	走行安全	264	469
	ADSサブ	124	車体	139	281
	その他	8	CSS*他	175	552
	合計	884	合計	1,016	2,350
減価償却費	AIサブ	472	パワートレイン	676	1,377
	AWサブ	469	走行安全	166	348
	ADSサブ	136	車体	150	305
	その他	122	CSS*他	201	450
	合計	1,199	合計	1,193	2,480
研究開発費	AIサブ	365	パワートレイン	402	793
	AWサブ	436	走行安全	228	481
	ADSサブ	107	車体	137	305
	その他	13	CSS*他	165	331
	合計	921	合計	932	1,910

* CSS : コネクティッド&シェアリングソリューション (Connected and Sharing Solutions)

2022年3月期 第2四半期 実績 所在地別セグメント内訳

【単位：億円】

	地域	2021年3月期 第2四半期実績	2022年3月期 第2四半期実績	増減	増減内訳	
					為替	正味
売上収益	日本	8,455	10,648	+ 2,193	-	+2,193
	北米	2,136	2,833	+ 697	+76	+621
	欧州	1,225	1,611	+ 386	+14	+372
	中国	1,827	1,969	+ 142	+199	▲57
	アジア他	914	1,584	+ 670	+39	+631
	合計	14,559	18,647	+ 4,088	+330	+3,758

※外部顧客への売上収益

営業利益	日本	▲ 478	599	+ 1,077	+67	+1,010
	北米	▲ 95	▲68	+ 27	▲1	+28
	欧州	4	22	+ 18	+1	+17
	中国	194	163	▲ 31	+16	▲47
	アジア他	▲ 28	181	+ 209	+1	+208
	消去	18	▲47	▲ 65	-	▲65
	合計	▲ 385	851	+ 1,236	+85	+1,151

2022年3月期 通期 予想 所在地別セグメント内訳

【単位：億円】

	地域	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	増減	増減内訳	
					為替	正味
売上 収益	日本	20,336	22,400	+2,064	-	+2,064
	北米	5,083	5,800	+717	+90	+627
	欧州	3,414	3,700	+286	+15	+271
	中国	3,788	4,300	+512	+255	+257
	アジア他	2,634	3,300	+666	▲30	+696
	合計	35,257	39,500	+4,243	+330	+3,913

※外部顧客への売上収益

営業 利益	日本	1,048	1,425	+377	+55	+322
	北米	▲42	10	+52	±0	+52
	欧州	51	55	+4	+2	+2
	中国	276	300	+24	+14	+10
	アジア他	152	410	+258	▲11	+269
	消去	▲33	-	+33	-	+33
	合計	1,453	2,200	+ 747	+60	+687

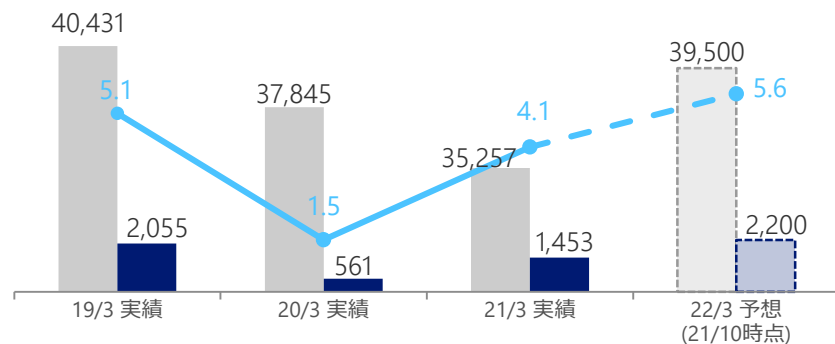
業績ハイライト

売上収益／営業利益／営業利益率

■ 売上収益 ■ 営業利益 ● 営業利益率

【単位：億円】

【単位：％】

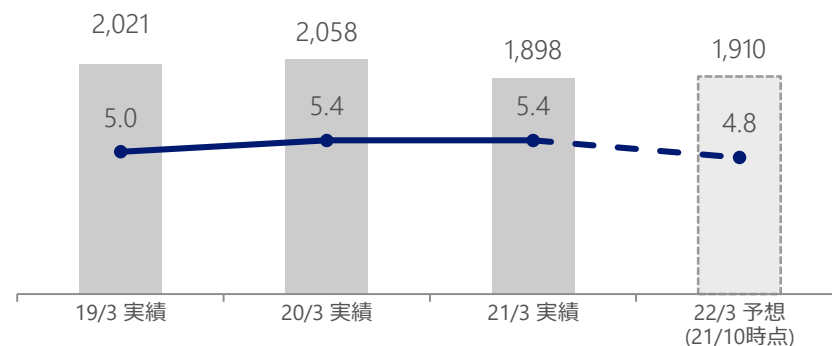


研究開発費／対売上収益比率

■ 研究開発費 ● 対売上収益比率

【単位：億円】

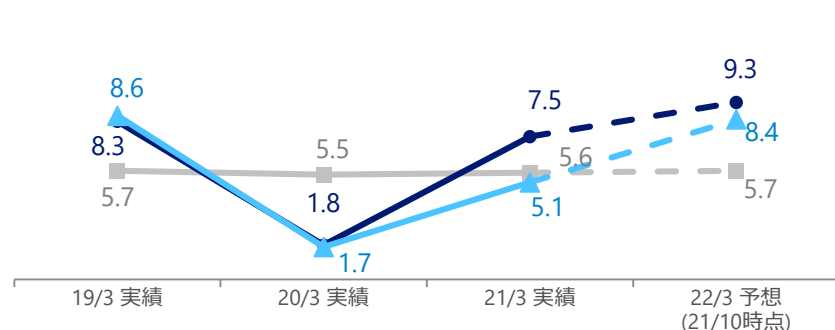
【単位：％】



自己資本利益率／投下資本利益率／加重平均資本コスト

● ROE ▲ ROIC* ■ WACC

【単位：％】

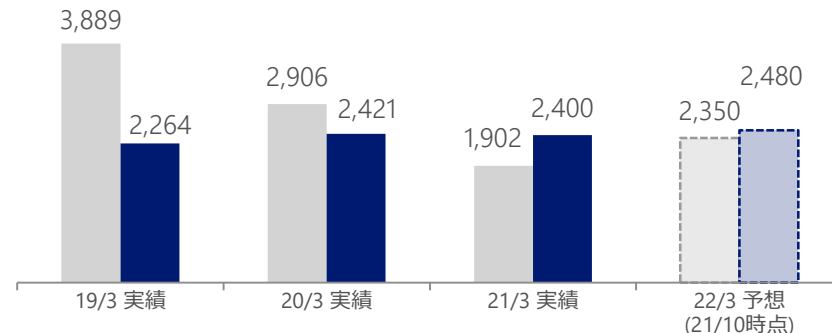


*税引き後営業利益÷(棚卸資産+有形固定資産+無形資産)

設備投資／減価償却費

■ 設備投資 ■ 減価償却費

【単位：億円】



トヨタ生産台数・パワートレインユニット販売台数

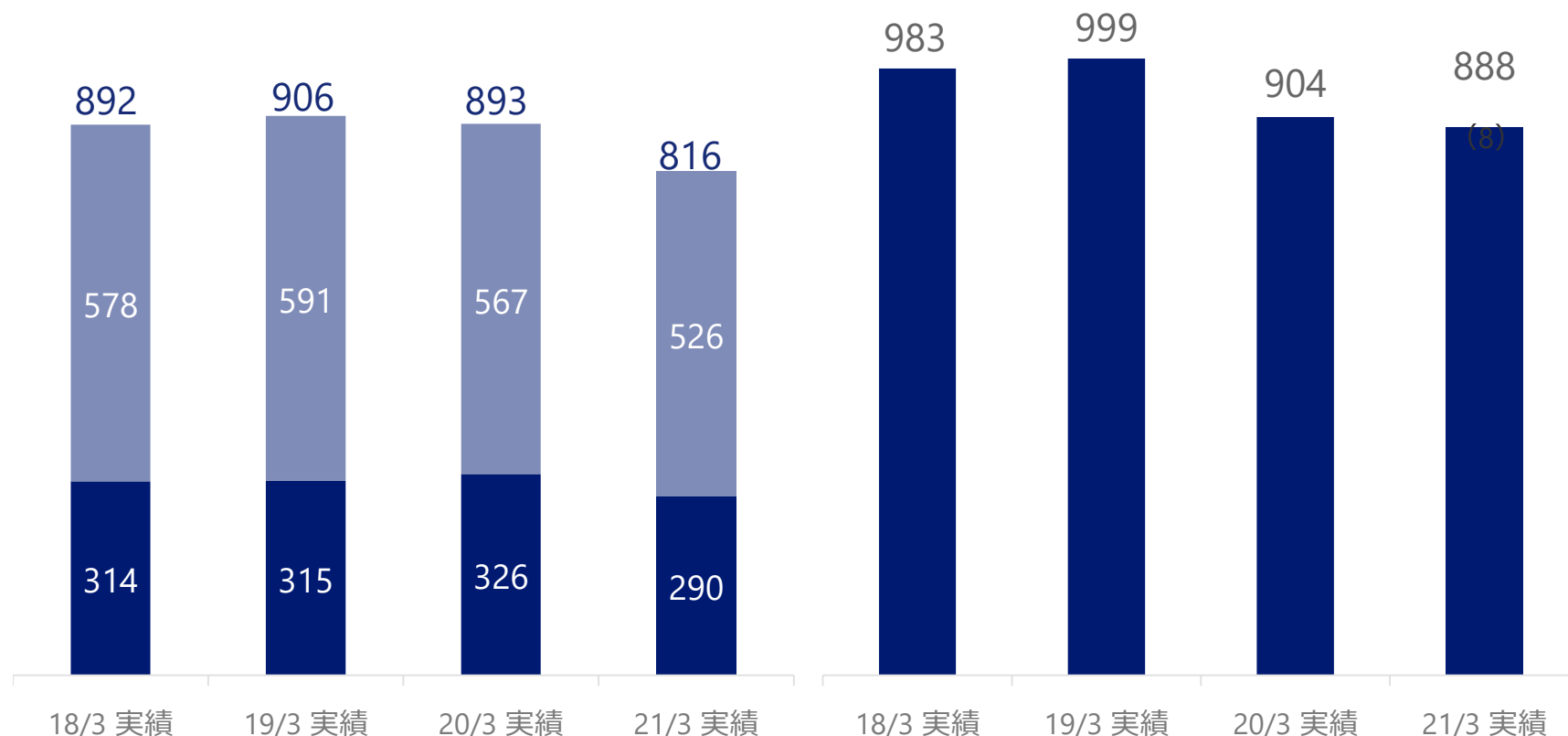
【単位：万台】

トヨタ生産台数

パワートレインユニット販売台数

() はE-Four(中容量以上)の内数

■ 国内 ■ 海外



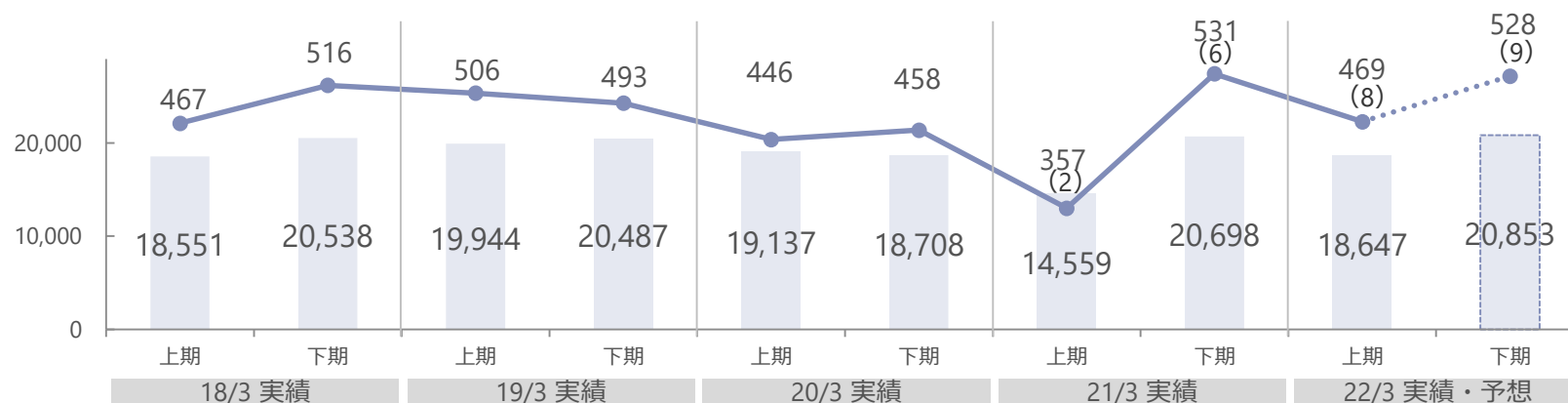
半期業績推移

売上収益

【単位：万台】

【単位：億円】

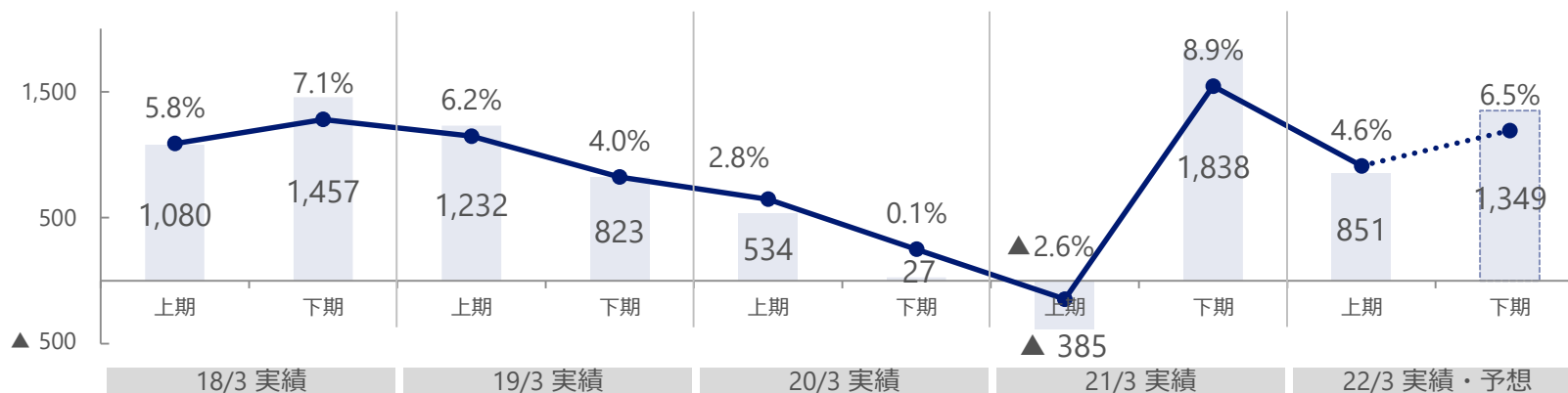
売上収益 パワートレインユニット販売台数 () はE-Four(中容量以上)の内数



営業利益

【単位：億円】

営業利益 営業利益率



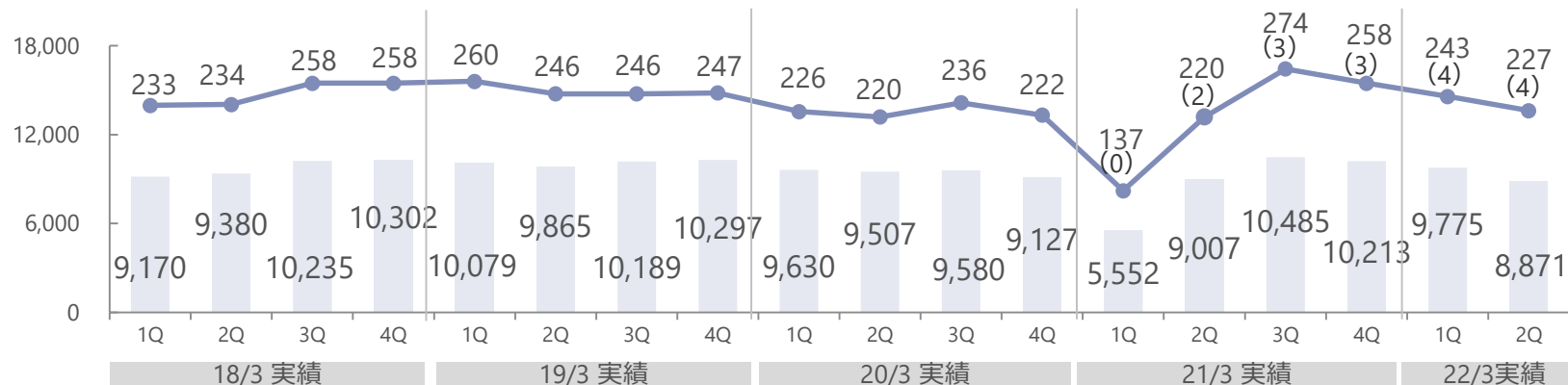
四半期業績推移

売上収益

【単位：億円】

売上収益 パワートレインユニット販売台数 () はE-Four(中容量以上)の内数

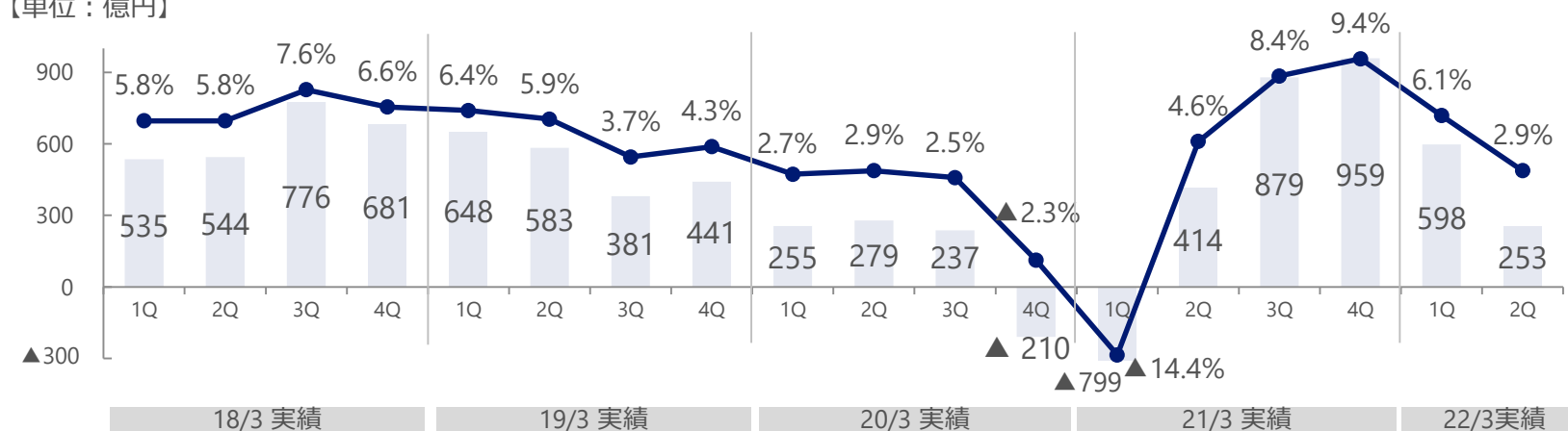
【単位：万台】



営業利益

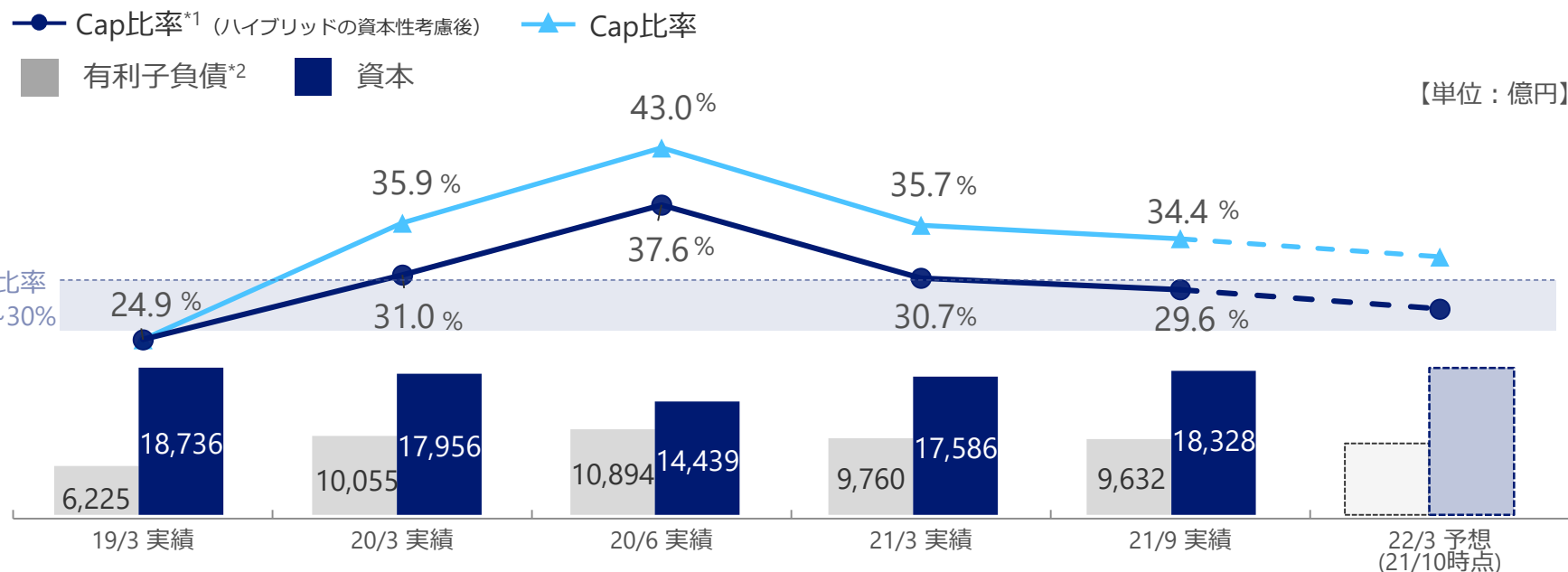
【単位：億円】

営業利益 営業利益率



資本政策

「財務の安全性」と「資本の効率性」のバランスを取りながら、企業価値の向上を図ることを基本方針としています。
そのバランスを考える上で、**キャピタリゼーション比率^{*1}が25%～30%となるのが最適な資本構成であると考えています。**



AW株式取得の資金調達(20/3期) / コロナウイルス拡大リスクに備えた資金調達(20/6期)によりCap比率が高まったが、以降は有利子負債を圧縮し、Cap比率を改善

^{*1} : キャピタリゼーション比率 (Cap比率) = 有利子負債 / (有利子負債 + 資本)

^{*2} : 有利子負債 = 社債及び借入金 + リース負債

^{*3} : 20/3期に実施したハイブリッド調達は、期限前弁済時直前のCap比率がハイブリッド調達直前期 (19/12期) の27.5%以下となった場合に、資本性調達による借換えを見送る可能性あり

株主還元

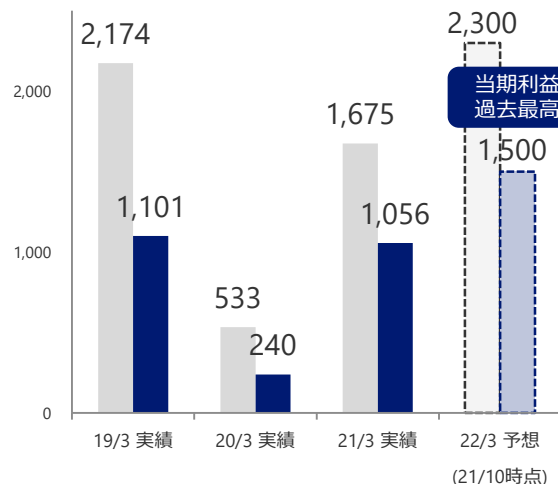
安定配当を基本に、連結配当性向30%レベルを目安に考えています。

なお、その時々キャピタリゼーション比率や将来の投資の動向を勘案し、
自社株買いも検討していきます。

税引前利益／
親会社の所有者に帰属する当期利益

■ 税引前利益 ■ 親会社の所有者に帰属する
当期利益

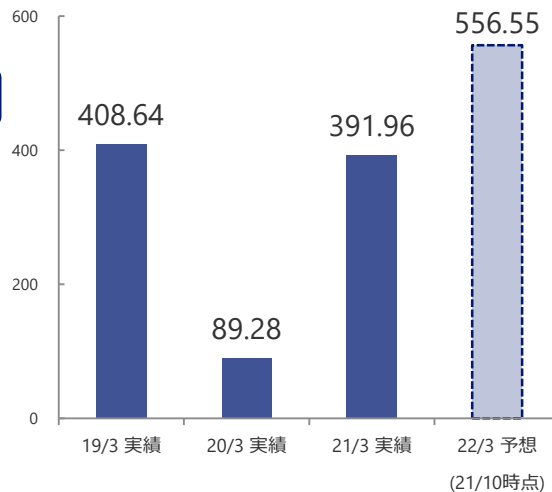
【単位：億円】



EPS
(基本的1株当たり当期利益)

■ EPS (基本的1株当たり当期利益)

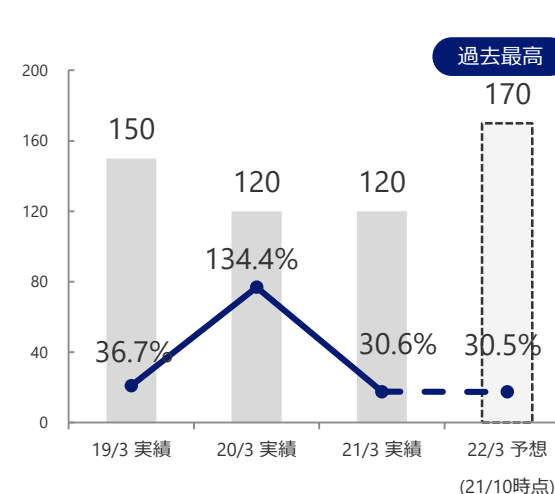
【単位：円】



1株当たり配当金／配当性向

■ 1株当たり配当金 ● 配当性向

【単位：円】





【将来の見通しに関する注意事項】

当社が開示する業績予想、将来の見通し、戦略、目標等のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は将来の見通しに関する記述であり、これらは、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動要因によって、開示した業績予想等と異なる結果になる可能性があります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社および当社の従業員等は一切責任を負いません。